

中村彝作品鑑賞指導案

1. 題材名

彝さんってどんな人？～作品から想像してみよう

2. 学年

中学年から高学年

3. 分野

鑑賞する

4. 時間数

1時間(美術館への校外学習の事前指導としても展開可能)

5. 題材設定の理由

茨城県を代表する洋画家中村彝の鑑賞の題材である。作品に関する資料をもとにしながら鑑賞することを通して、作品の見方や感じ方を広めながら、本県の代表的な作家について興味をもち、その作品の面白さやよさを味わわせることができるようにした。ワークシート「私のおすすめ！作品紹介シート」(別紙1)を使用し、五感をもとに鑑賞し、作品を見る視点や考える視点を明確なるようにする。また、作品に関する資料を参考にすることで作品の見方や考え方を広げられるようにする。次に、作品鑑賞したことをもとに、作品についての自分のおすすめについて考えたり、作者の人物像について想像をふくらませたりすることによって、鑑賞した作品にさらに愛着がもてるようにする。

6. 準備

デジタル教材を茨城県近代美術館のホームページから、教師用または児童生徒用のタブレット等にダウンロードして使用する。

7. 授業の実際

◆:指導上のポイント

次	時	学習内容・活動	◆:指導のポイント
1	1	資料とともに作品を鑑賞して、中村彝の人物像について想像しよう。 1 資料をもとにしながら、中村彝について知る。 2 ワークシートと資料を使って作品を鑑賞する。	◆絵の見方や見る視点を伝えるとともに、本時の流れを確認する。 ◆細部を拡大しながら鑑賞できるように、児童個人のタブレット等で作品資料を準備するとよい。

	<p>3 作品のおすすめポイントについて考えたり、中村彝の人物像について想像したりする。</p>	<p>◆一つの作品にとどまらず、作者の他の作品や、作者自身にも興味をもてるようにし、鑑賞すること美術館来館への興味や期待もてるように美術館での鑑賞の意欲を高められるようにしたい。</p>
--	--	---